

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成29年2月16日(2017.2.16)

【公開番号】特開2016-193371(P2016-193371A)

【公開日】平成28年11月17日(2016.11.17)

【年通号数】公開・登録公報2016-064

【出願番号】特願2016-165193(P2016-165193)

【国際特許分類】

A 6 1 G 7/018 (2006.01)

【F I】

A 6 1 G 7/018

【手続補正書】

【提出日】平成29年1月10日(2017.1.10)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

人体を支持するボトムと、前記ボトムの姿勢及び高さを調節する調節機構と、前記調節機構に動作指令を与えるための操作部とを備える電動ベッドであって、

前記操作部は、

操作ボタンを含む操作パネルと、

音声を出力する音声出力部と、

前記操作パネルでの操作に従って、前記音声出力部と前記調節機構とを制御する制御部とを有し、

前記制御部は、

前記操作ボタンが押下され、前記押下が続いている場合には、押下されている操作ボタンに対応する音声の出力を前記音声出力部に開始させた後に、押下されている前記操作ボタンに対応する動作指令を前記調節機構に与えることで前記操作ボタンに対応する動作を前記調節機構に実行させ、

前記音声の出力中に前記操作ボタンの押下が解除され、解除されてから所定時間を超えて新たに操作ボタンが押下された場合、新たに押下された操作ボタンが直前に押下された操作ボタンと同じであっても同じでなくとも、音声の出力を停止し、新たに押下された操作ボタンに対応する動作を前記調節機構に実行させる

電動ベッド。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 8】

上記目的を達成するために、本発明に係る電動ベッドの一形態は、人体を支持するボトムと、前記ボトムの姿勢及び高さを調節する調節機構と、前記調節機構に動作指令を与えるための操作部とを備える電動ベッドであって、前記操作部は、操作ボタンを含む操作パネルと、音声を出力する音声出力部と、前記操作パネルでの操作に従って、前記音声出力部と前記調節機構とを制御する制御部とを有し、前記制御部は、前記操作ボタンが押下さ

れ、前記押下が続いている場合には、押下されている操作ボタンに対応する音声の出力を前記音声出力部に開始させた後に、押下されている前記操作ボタンに対応する動作指令を前記調節機構に与えることで前記操作ボタンに対応する動作を前記調節機構に実行させ、前記音声の出力中に前記操作ボタンの押下が解除され、解除されてから所定時間を超えて新たに操作ボタンが押下された場合、新たに押下された操作ボタンが直前に押下された操作ボタンと同じであっても同じでなくても、音声の出力を停止し、新たに押下された操作ボタンに対応する動作を前記調節機構に実行させる。